



TOPICS

ファーマー通信 vol.32

「兼業から専業へ」古関 こせき かずひこ 和彦さん ②

農協法公布記念日にあたって ③

年末年始営業時間 ⑧

No. 265
2023.11.27



ペーパン農事組合 古関 和彦さん

今回はペーパン農事組合 古関 和彦さんをご紹介致します。

古関さんは高校卒業後、一般企業に就職しながら実家の農業を手伝い、24歳の時に農業経営者となりましたが仕事は続け、それから長年に亘り兼業農家として働いておられました。仕事に行く前に草刈り等を行い、田植えや稲刈り時期は仕事を休んで農業に専念する忙しい毎日を送っておられました。そして昨年、めでたく60歳で定年を迎え専業農家となりました。今まで時間がなくて目につかなかったような事も専業になると、色々が目について以前よりも忙しいと話す古関さん。

現在は水稲とそばの作付をしております。

今回は古関 和彦さんにいろいろお話を伺いました！

Q 農業をやる上でのやりがいはなんですか？

A 手を掛けた分だけ答えてくれることです。一つひとつの仕事に手間をかけることで、収量が増えたり美味しいものができるところにやりがいを感じます。

Q 特にこだわりを持っていることはありますか？

A 低コストで美味しいものを作ることです。以前は機械整備の仕事をしていたので、自分で機械の整備を行い、なるべくコストのかからないようにしています。

Q 一番辛かったことはなんですか？

A 米が取れなかった時です。以前、稲の開花時に冷たい北風が吹き、その影響で米が全然取れず資金繰りに大変苦労しました。

Q 現在の目標を教えてください。

A 70歳になるまで農業を頑張る事と、農地を次の世代にきちんと引き継ぐ事です。地元の農地は条件の悪い土地ばかりなので作業の省力化や色々な課題はありますが、次の耕作者にきちんと引き継いで農業を引退したいです。

Q 趣味はなんですか？

A 飲みに行く事と魚釣りです。昨年、釣りに加入し船に乗ってカレイやフグを釣りに行きました。今まで乗り物酔いが酷く代掻きでも酔う程でしたが、釣りに会のおかげで船酔いしなくなりました(笑)



農協法公布記念日にあたって



北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽井 功

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で76年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは本年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいかなければなりません。

この厳しい時代だからこそ、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国消国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国消国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



北の恵み食べマルシェ2023

9月16日から18日までの3日間、「北の恵み食べマルシェ2023」に出店し、当JAの特産品をPRしてまいりました。

今年も「東旭川生ビール」や兵村の五目の具を使用した「兵村の五目いなり」など、マルシェ限定商品をはじめとした様々な特産品を販売致しました。中には一度購入した商品を再度買いに来てくださる方もいらっしゃいました。

最終日はあいにくの天気でしたが3日間を通して多くの方に来場いただき、幅広い年代の方々に特産品を紹介することができました。



宝船奉納式典

上川地区農業協同組合長会は10月5日、上川神社に今年の五穀豊穡を感謝する宝船を奉納しました。宝船の奉納は、昨年続き2回目となり、当JAからはさつまいもを寄贈しました。管内13JAから

提供された米や野菜、花などは色とりどりの豪華な宝船となり、七五三参りで数多くの参拝者が上川神社を訪れる中、本殿に飾られ、参拝者から注目されておりました。

10月は国消国産(国民が消費する食料は、その国で生産する考え方)の推進月間でもあり、地域の方々に農産物の大切さを知っていただく良い機会となりました。



市長と新米おにぎり試食懇談会

市内4JAと旭川市で構成する旭川米生産流通協議会は10月12日、市役所にて今津市長に出来秋の報告と新米の贈呈、新米おにぎりの試食を行いました。

懇談会には、同協議会の相澤会長の他、生産者代表として佐藤部会長ら10名が参加しました。試食のおにぎりには4JA統一ブランド「大雪山見て育ったの ななつぼし」と「東旭川米 ゆめぴりか」を使用し食べ比べを行いました。

参加者一同「やっぱり採れたてのお米は美味しい」と舌鼓を打ち、今津市長は「生産者の皆さんと力を合わせ農業の発展に取り組んでいきたい」と意気込んでおられました。

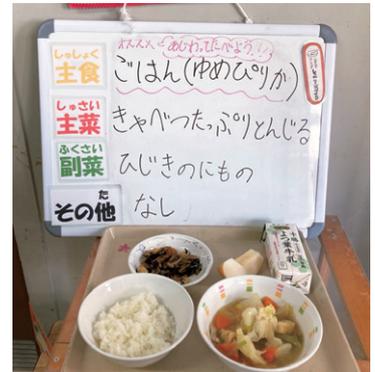


旭川産米“ゆめぴりか”を味わう日



10月24～25日、「旭川産米“ゆめぴりか”を味わう日」と銘打ち、市内小中学校の給食に旭川産の“ゆめぴりか”が提供されました。

24日、同行事の実施に伴い旭川米生産流通協議会 生産者部会の佐藤部会長が向陵小学校を訪れ、給食の時間に児童と交流しました。佐藤部会長よりお米作りの素晴らしさや苦労等についての講話が行われ、給食を食べた児童からは「もちもちして美味しい」等の声があり、笑顔あふれる交流となりました。



女性部冬期研修

10月25日から26日の2日間、部員9名参加のもと4年ぶりに冬期研修が開催されました。

1日目は、「エスコンフィールド北海道」でスタジアムツアーに参加し、他の施設では見ることのできない構造や建築に関する工夫を学んだ後、「厚真町被災地」を訪れ、実際に地震を体験された方と被災地を巡回しながら当時の悲惨な状況や農家の苦労・現在に至るまでの復興過程についてお話を聞くことができました。



2日目は「ウポポイ 民族共生象徴空間」で体験活動に参加し、先住民族であるアイヌ民族の文化や歴史について学ぶとともに、一つの文化を尊重・伝承していくことの大切さを学びました。

2日間を通し、部員間の親睦を深めるとともに中身の濃い、充実した研修を行うことができました。

JA青年部×女性部 合同事業 ご飯がすすむ“農家めし”

上川管内13JAの青年部と女性部が開発した、地域の特産品を使ったメニューを提供する「農家めし」が、期間限定でJA上川ビル内のみはら食堂で行われています。

当JAの青年部と女性部は、産地化を目指している「さつまいも」を使用した「レーズンの入ったさつまいもサラダ」を考案しました。

下記の期間限定のみはら食堂にて提供されますので、ぜひご賞味ください。

提供期間
12月4日(月)～8日(金)



令和5年産米 出荷実績

品種名	出荷数量	出荷の内訳（俵）			
		6.8以下	6.9～7.4	7.5～7.9	8.0以上
ゆめぴりか	7,282.5	94.0	2,112.0	2,820.0	2,256.5
ななつぼし	37,724.0	6.8以下	6.9～7.9	8.0以上	
		0.0	19,404.0	18,320.0	
きらら397	3,121.5	3,121.5		0.0	
おぼろづき	699.0	95.0		604.0	
えみまる	453.0	338.0		115.0	
その他	1,193.0	1,193.0			
屯田米	2,864.0	2,864.0			
水田活用米穀	13,611.0	13,611.0			
飼料用米	1,664.0	1,664.0			
合計	68,612.0				

令和5年度

野菜・花き品目別販売実績（10月末）

品目	令和5年度 計画				令和5年度 10月末実績			令和4年度 10月末実績			計画対比			前年対比		
	作付面積	販売数量	販売金額	kg単価	販売数量	販売金額	kg単価	販売数量	販売金額	kg単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
	a	kg	千円	円	kg	円	円	kg	円	円	%	%	%	%	%	%
ピーマン	116	116,000	46,400	400	94,498	62,396,440	660	120,934	61,595,499	509	81	134	165	78	101	130
ミニトマト	280	145,600	99,000	680	114,627	92,505,722	807	120,091	94,952,290	791	79	93	119	95	97	102
トマト	100	100,000	33,000	330	131,006	41,409,252	316	148,811	46,314,503	311	131	125	96	88	89	102
チンゲンサイ	180	65,000	26,000	400	54,370	23,337,563	429	63,492	26,590,872	419	84	90	107	86	88	102
ほうれん草	91	8,190	5,500	680	3,437	2,699,597	785	6,092	4,665,508	766	42	49	115	56	58	102
ししとう	41	18,000	20,000	1,100	13,787	23,035,092	1,671	13,576	19,729,819	1,453	77	115	152	102	117	115
白かぶ	40	10,000	2,500	250	9,126	2,435,446	267	9,984	3,276,773	328	91	97	107	91	74	81
千本ねぎ	60	2,500	2,800	1,100	1,348	1,975,171	1,465	2,004	2,696,035	1,345	54	71	133	67	73	109
花き	320		60,000			68,048,245			63,239,763			113				108
その他		130,200	52,800	350	50,030	35,831,880		66,689	39,541,654		38	68		75	91	
(小松菜)	200	28,000	12,600	450	25,758	11,638,207	452	25,110	9,863,931	393	92	92	100	103	118	115
(激辛なんばん)	6	4,000	3,600	900	2,124	2,618,504	1,233	3,447	3,065,756	889	53	73	137	62	85	139
(ブロッコリー)	50	8,200	1,300	160	1,222	167,617	137	4,188	650,069	155	15	13	86	29	26	88
(さつまいも)	450	90,000	12,600	140				12,869	1,806,919	140						
(その他)			22,700		20,926	21,407,552		21,075	24,154,979			94		99	89	
兵村の里			52,000			49,941,414			47,854,682			96			104	
計	1,228	595,490	400,000		472,229	403,615,822		551,673	410,457,398		79	101		86	98	

JA北海道大会実践フォーラム開催

11月7日、ニューオータニイン札幌においてJA北海道大会実践フォーラムが開催され、当JAからは畑山組合長、青年部から鹿野部長、横尾副部长、女性部から吉岡部長、椎名副部長ら9名が参加しました。

このフォーラムは食料安全保障の重要性を再確認し、第30回JA北海道大会の目指すべき将来ビジョンとして、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』」の実現に向け、大会の決議事項である「『JA運営の好循環』に向けて対話の成果を実践」、「『JA運営の好循環』を支える人づくり・JA経営の強化」の実践例や現状の課題をJAグループ全体で共有するとともに、JAグループ内外に実践状況を発信する事で決議事項の実践を加速させ、大会で掲げた将来ビジョンの実現を目指すことを目的に開催され、全道からJAや連合会、青年部、女性部の代表者など総勢700人が集結致しました。



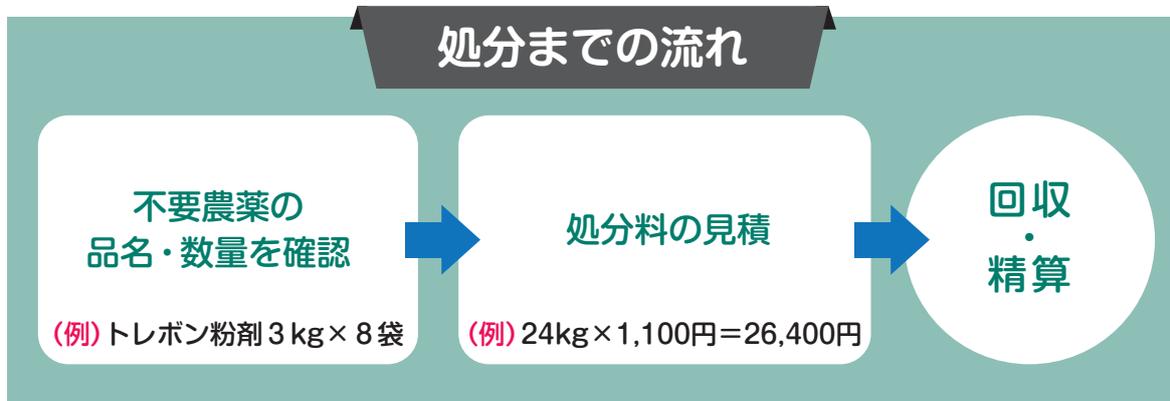
JA北海道中央会樽井会長の挨拶の後、基調講演では(一社)全国農業協同組合中央会顧問の中家氏より「食料安全保障と食料・農業・農村基本法の改正について」又、実践事例発表としてJAめむろ 村瀬宮農部長による「次世代農業経営者との『つながり』」と題してJAめむろの研修制度や対話・交流の事例が発表されました。最後に、北海道大学大学院農学研究院 小林准教授より「次世代農業者との対話状況調査を踏まえた対話の推進について」と題して対話の重要性などの説明があり、参加者一同真剣に聞き入っておりました。

生産資材課より

不要農薬の処分について

不要な農薬は産業廃棄物になり、法令に従った処分が必要になります。

処分料は農薬の成分や処分する重量によって変わり、ラベルがはがれていたり、汚れて読めない場合は成分分析が必要になりますので、お見積りをさせていただき回収致します。使用期限が切れた農薬や、使用基準の登録が抹消された農薬、使用しない農薬がございましたら、生産資材課までご連絡ください。



お問い合わせ先：生産資材課 ☎ 36-6031

大型クローバー貯金積み立てのご案内 (第5年度)

日頃より貯金事業に多大なるご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。
さて、組合員皆様の申し合わせ貯金として、本年が第5年度となる大型クローバー貯金を、下記のとおり実施致しますのでご案内申し上げます。

- ◆積立基準
 1. 農畜産物販売代金の5%
 2. 経営所得安定対策交付金等の5%
 3. 賃貸料金の5%
- ◆積立期間 5年間
- ◆利率 5カ年の定期貯金利率を適用
- ◆積立日 令和5年12月26日(火)
※販売代金の入金状況により変更になる場合もあります。
- ◆積立方法 クミカン又は総合口座Ⅱ型・普通貯金より振替積立

お問い合わせ先：金融共済課(貯金) ☎36-2111

年末年始営業時間のご案内

		令和5年12月			令和6年1月							
		29日(金)	30日(土)	31日(日)	1日(月)~ 3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)~ 8日(月)	9日(火)~			
本 所	企画課・管理課				休業	休業	休業		平常営業			
	金融・貯金・共済窓口	平常営業				9:00~ 15:00	9:00~ 15:00					
	キャッシュコーナー		休業	休業		9:00~ 16:30	9:00~ 16:30			休業		
	営農販売課	休業				休業	休業					
	生産資材センター											
	給油所	セルフ	平常営業	平常営業		8:30~ 16:00	平常営業			平常営業	平常営業	平常営業
		フル				8:30~ 15:00						
		洗車				休業						
		ピット作業				休業						
		灯油配送				休業						
豊 田 支 所	金融・貯金・共済窓口	平常営業	休業	休業		9:00~ 15:00	9:00~ 15:00	休業				
	給油所・購買店舗											

※ 自動車事故受付(24時間受付) 上記営業時間内は☎36-2111、夜間・休日はフリーダイヤル ☎0120-258-931
※ 葬祭(24時間受付) ☎76-2815

理事会の経過

第8回理事会

開催日 令和5年9月15日

決議事項

1. 貸付金の査定について
2. 出資の減口・譲渡について
3. リスク評価書の改正について

協議報告事項

1. 組合員の加入・脱退の状況について
2. 令和5年産主食用うるち米・水田活用米穀・酒造好適米概算価格について
3. 令和3年産主食用うるち米の最終精算並びに令和3年産加工用うるち米、酒造好適米の追加概算払いについて
4. 営業時間の変更について
5. 役員研修について
6. 各課・支所の事業推進報告について



第9回理事会

開催日 令和5年10月26日

決議事項

1. 職制規程の一部変更について
2. 建設工事規程の一部変更について
3. 出資の減口・譲渡について
4. 令和5年産屑米の仮渡金について
5. 令和5年産消費者契約栽培米（ふるさと屯田米）の仮渡金について
6. 組合と理事との契約について

協議報告事項

1. 監事の監査報告について
2. 組合員の加入・脱退の状況について
3. 内部監査実施報告について
4. 大型クローバー貯金の積立（第5年度）について
5. 共済端末機運営管理要領の一部変更について
6. セキュリティログ管理要領の制定について
7. 令和5年産米の出荷状況並びに色彩選別処理状況について
8. 令和6年度新規採用職員の内定結果について
9. 貯金・共済の推進状況について
10. 役員研修について
11. 各課・支所の事業推進報告について

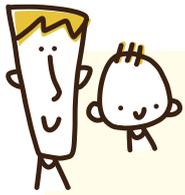
行事経過と予定

11月

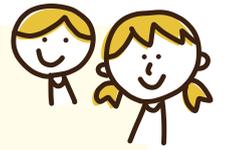
- 8～11日 役員研修
- 17日 コンプライアンス研修会
- 19日 農協法公布記念日
- 20～22日 みのり監査法人監査
- 22日 理事会
- 27～29日 組合員宅巡回訪問
- 27～30日 自治監査
- 28～30日 巡回ドック

12月

- 4日 農事組合長会議
- 6日 役員協議会
- 23日 大掃除
- 25～27日 組合員宅巡回訪問
- 27日 理事会



地域の皆さま向け広報誌「ひかり+」



組合員のお子さん、お孫さんの写真大募集!

地域の皆さま向け広報誌「ひかりプラス」の“表紙”でご紹介させていただきます。
元気いっぱいのお写真をお待ちしております!

応募写真

東旭川で撮影されたお子さん、お孫さんの写真

応募方法

QRを読み取り、必要事項を入力の上
ご応募いただくか、下記お問い合わせ
先までご連絡ください。



注意事項

- 応募多数の場合、抽選になる場合があります。
- 広報誌はホームページ、SNSに掲載させていただきます。
- 投稿写真について、掲載の都合上サイズ変更やトリミング等の加工をする場合がございます。
- 採用された方には粗品を贈呈致します。

お問い合わせ先
企画課
☎36-2111



次号(令和6年
3月発刊)に
掲載されます!



老後生活
への備えは
十分ですか?

詳しくは... 農業者年金基金 検索
<https://www.nounen.go.jp>

老後の備えは 国民年金+農業者年金!

- 支払った保険料は
全額社会保険料控除の対象!
- 運用益は非課税!
そのほか生涯を通じて様々な税制面での優遇措置
がある!
- 農業経営の状況に応じて
保険料を増額し、節税額をアップ!

※農業者年金に加入できる方の要件は以下の通りです。
・年間60日以上農業に従事している方で、
・国民年金第1号被保険者(60歳未満)又は、
国民年金の任意加入者(60歳以上65歳未満)
※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ!



お問い合わせ先: 企画課 ☎36-2111



©よりぞう

定期貯金



ウインターキャンペーン

3年定期限定

200万円以上の新規預入または増額で

新米 **ゆめぴりか** プレゼント!
200万円毎に5kg×1袋



※お一人様 1,000万円まで

さらに **店頭金利×10倍**

10万円以上の新規預入または増額で **店頭金利×10倍**

条件 正組合員、准組合員、新規組合員加入の方

商品内容 ●貯金の種類：定期貯金3年もの ●対象：個人の方に限定

※ご契約いただいた定期貯金は自動継続扱いとさせていただきます。満期日以降は上乗せ金利が適用されませんのでご注意ください。※期日前に中途解約されますと、お預入日から中途解約日まで所定の中途解約利率が適用となりますのでご注意ください。※お利息に20.315%（国税15.315%、地方税5%）の分離課税となります。※本定期貯金は貯金保険制度の対象となり、同制度の範囲内で保護されます。※商品概要については、店頭にお問い合わせください。

〓 こちらも好評実施中です 〓

ATM
定期貯金

- メリット① 道内JAのATMならどこでもOK!
- メリット② 窓口営業時間外でも大丈夫!
- メリット③ 申込用紙記入不要!

今なら **1年定期**
店頭金利 ×10倍

商品内容

対象：当JAで総合口座通帳または定期貯金通帳を開設されている個人の方に限定
※満期日以降は上乗せ金利が適用されません。※左記利率は金利情勢等の変化により見直すことがあります。※お利息に20.315%（国税15.315%、地方税5%）の分離課税となります。

みんなの広場



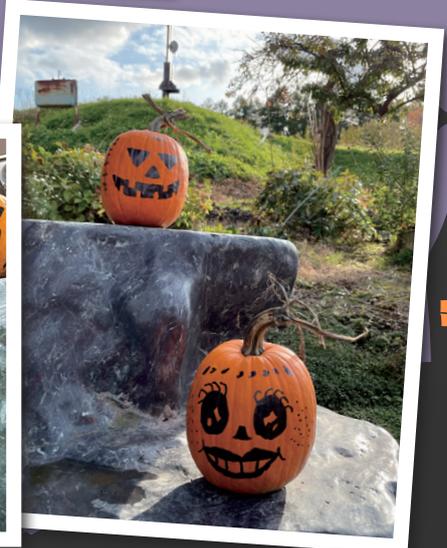
ハッピーハロウィン



南地区
相田さん



桜岡地区
泉さん



パレット返却のお願い

肥料の早期取りまとめ・お引き取りにご協力をいただきありがとうございます。

当JAで配送等に使用しているパレットが不足しておりますので、庭先に空きパレットがございましたら、生産資材課までご連絡をお願い致します。

道栄パレット



リースパレット・生産資材課パレット



お問い合わせ先：生産資材課 ☎36-6031



編集後記

いつもJAだより「~~お~~ひかり」をご愛読・ご協力いただき誠にありがとうございます。編集委員になり取材などを通じて組合員の皆様と会話の機会が増えたり、収穫体験をさせていただいたり、とても嬉しく思っています。

組合員の皆様におかれましては、収穫作業もやっと一息ついた頃かと思えます。寒くなり体調を崩しやすい時期ですので、体調管理にはお気を付けてください。

今年も早いもので残り1ヵ月となりました。冬といえばクリスマスにお正月、ウィンタースポーツなどイベントがたくさんあります。楽しい冬が迎えられるよう冬道での交通事故には注意しましょう！

来年もより読み応えのあるJAだよりをお届けできるよう努力してまいりますので、よろしく願い致します。
(浅水)

企画・発行 東旭川農業協同組合

発行責任者 畑山義裕

印刷 (株)総北海